栗田工業株式会社

2027年3月期第1四半期　決算説明会

（証券コード：6370）

2026年8月7日

© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

1Q決算サマリー

2027年3月期 1Q実績

（前年同期比）**受注高 ＋ 77.1%、 売上高 ＋ 14.3%、事業利益 ＋ 7.8%**

- セグメントごとに濃淡あるも全体では想定線で進捗

電子

- 東アジアおよび米国で大型装置案件の獲得が進み、受注高が高水準で進捗
- 装置や継続契約型サービスが堅調に推移し増収となった一方、特定の装置案件で追加コストが発生し減益

一般水処理

- 円安に伴う為替影響に加え、薬品事業の伸長により、受注高・売上高ともに増加
- CSVビジネスの拡大により収益性の改善が進み、増益
- 中東情勢によるマイナス影響は、想定ほど顕在化せず

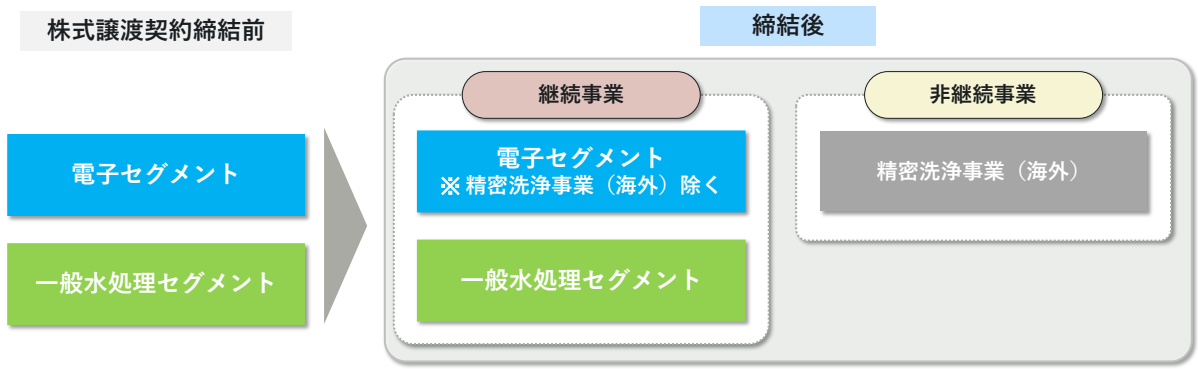
トピックス

- 1Qに発生したペンタゴン社の株式譲渡に伴う収益を反映し、2027年3月期の業績予想を修正
- 2026年5月14日開催の取締役会決議に基づき自己株式取得を実施（上限：500万株、350億円）
  7月31日時点の取得状況：185万株、161億円

© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

開示の変更点

- 2026年5月13日におけるペンタゴン・テクノロジーズ・グループ社の株式譲渡契約の締結に伴い、精密洗浄事業（海外）を非継続事業に分類し、税引前利益までの情報を継続事業ベースで開示
- 2026年6月30日付で同社の株式譲渡が完了



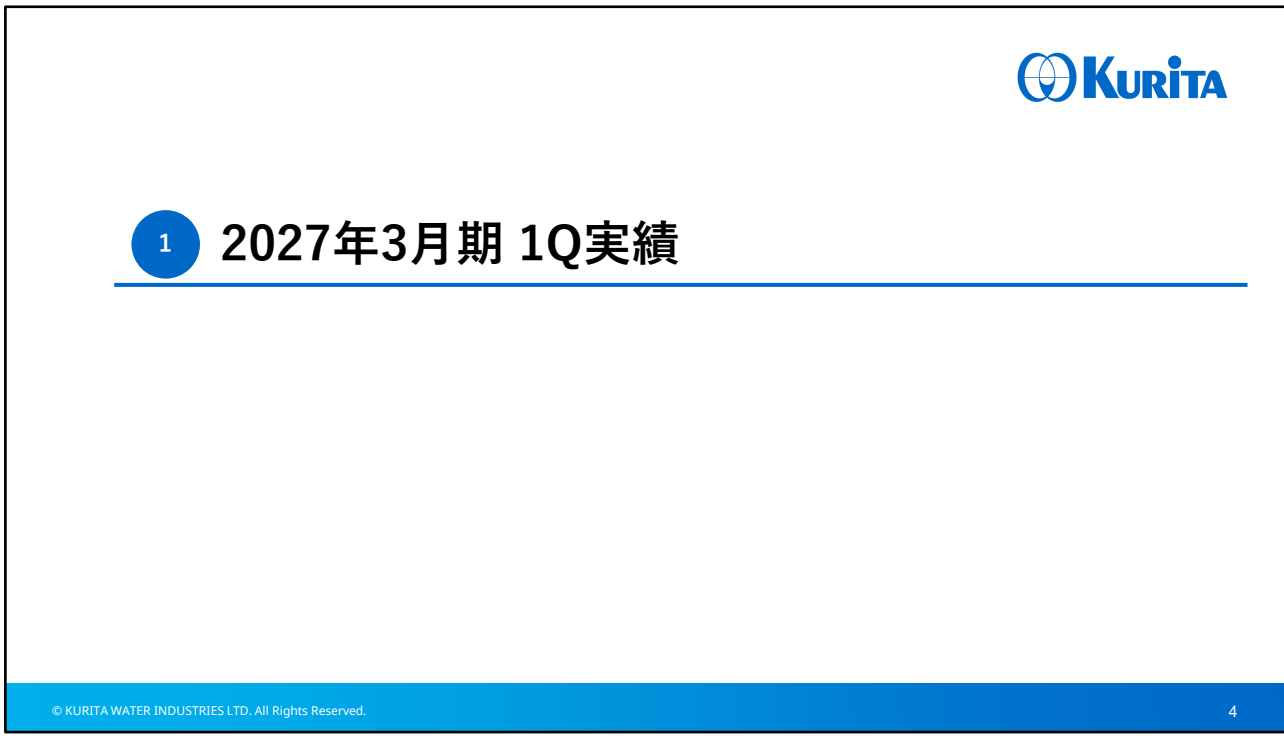
© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期 1Q実績 ---------- P. 4 - 13

2 2027年3月期 業績予想 ---------- P. 14 - 17

© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.



2027年3月期 1Q実績

CFOの野末です。

はじめに、
当社子会社のクリタ分析センターにおいて判明した
アルキル水銀分析に関する不適切な事案につきまして、
株主・投資家の皆さまをはじめとするステークホルダーの皆さまに、
ご心配とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

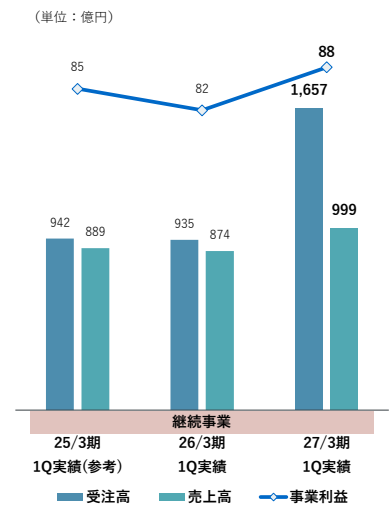
経営陣として大変重く受け止めており、
現在、本事案の事実関係や発生要因の調査・究明と
再発防止に全力で取り組んでいます。

本事案を受け、超純水の分析も含む同社の分析業務を再調査し、
同様の事象が無いことを確認しています。

皆さまからの信頼を一日も早く取り戻せるよう、
透明性を持って、誠実に対応してまいります。

業績概要

	（単位：億円）	2026/3期 1Q実績	2027/3期 1Q実績	前年同期差	前年同期比	2027/3期 上期予想 (7/29発表)
継続事業	受注高	935	1,657	+ 721	+ 77.1%	2,600
	売上高	874	999	+ 125	+ 14.3%	1,980
	事業利益	82	88	+ 6	+ 7.8%	235
	事業利益率	9.4%	8.8%	△ 0.5pp	−	11.9%
	その他の収支	8	55	+ 46	−	45
	営業利益	90	143	+ 53	+ 58.5%	280
	税引前四半期利益	89	146	+ 57	+ 63.9%	278
非継続事業 + 継続事業	親会社の所有者に帰属する四半期利益	56	143	+ 87	+ 154.4%	246
	基本的1株当たり四半期利益（円）	50.84	131.83	+ 80.99	+ 159.3%	228.11
為替レート	USD（円）	144.6	159.5			150.8
	EUR（円）	163.8	185.4			174.8
	CNY（円）	20.0	23.4			21.3



© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

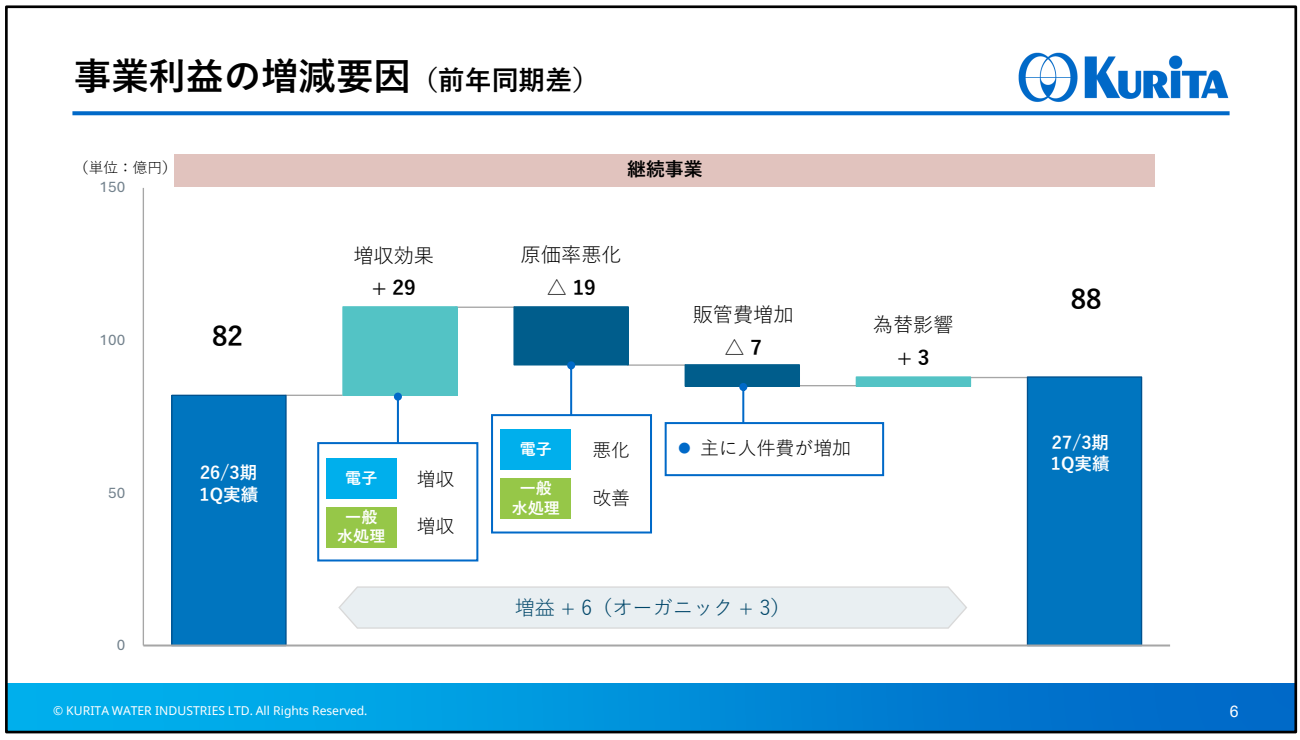
業績概要

当四半期は、為替が期初予想に対して円安方向に推移しましたが、
この影響を除いても、受注高、売上高、事業利益いずれも
前年同期を上回りました。

受注高は、半導体市場の旺盛な投資を背景に
想定を上回るペースで積み上がっており、
売上高、事業利益は想定に沿った進捗と評価しています。

営業利益以降の各段階利益については、
主にペンタゴン社の株式譲渡に伴う収益計上により
大幅な増益となりました。

これに伴い、上期および通期の業績予想を修正しています。



事業利益の増減要因（前年同期差）

事業利益は、前年同期と比べ6億円の増益となりました。
なお、為替影響を除いたオーガニックでは、3億円の増益となります。

電子 事業別業績

KURITA

継続事業

（単位：億円）	2026/3期 1Q実績	2027/3期 1Q実績	前年同期差	2027/3期 上期予想 (7/29発表)
受注高	**335**	**979**	**＋644**	**1,450**
装置	69	701	＋632	947
継続契約型サービス	132	146	＋14	268
サービス	133	132	△1	234
薬品	28	32	＋4	61
精密洗浄	20	21	＋1	44
メンテナンス	86	79	△7	129
売上高	**373**	**459**	**＋87**	**930**
装置	144	213	＋70	440
継続契約型サービス	132	145	＋12	267
サービス	97	101	＋5	223
薬品	28	32	＋4	61
精密洗浄	19	22	＋3	44
メンテナンス	50	48	△2	118
事業利益	**46**	**41**	**△5**	**125**
事業利益率	**12.3%**	**8.9%**	**△3.3pp**	**13.4%**
営業利益	**50**	**95**	**＋45**	**173**

装置

- 受注高は主に韓国・米国・中国での大型案件の獲得により増加
- 売上高は主に韓国・台湾・欧米で増加

継続契約型サービス

- 前期に終了した契約案件の減収影響を受けるも、新規にサービスを開始した水供給案件と顧客の稼働状況により増収

メンテナンス

- 受注高は主に台湾で増加した一方、韓国で減少
- 売上高は前年同期と同水準

オーガニック増減	＋72億円
為替影響	＋15億円

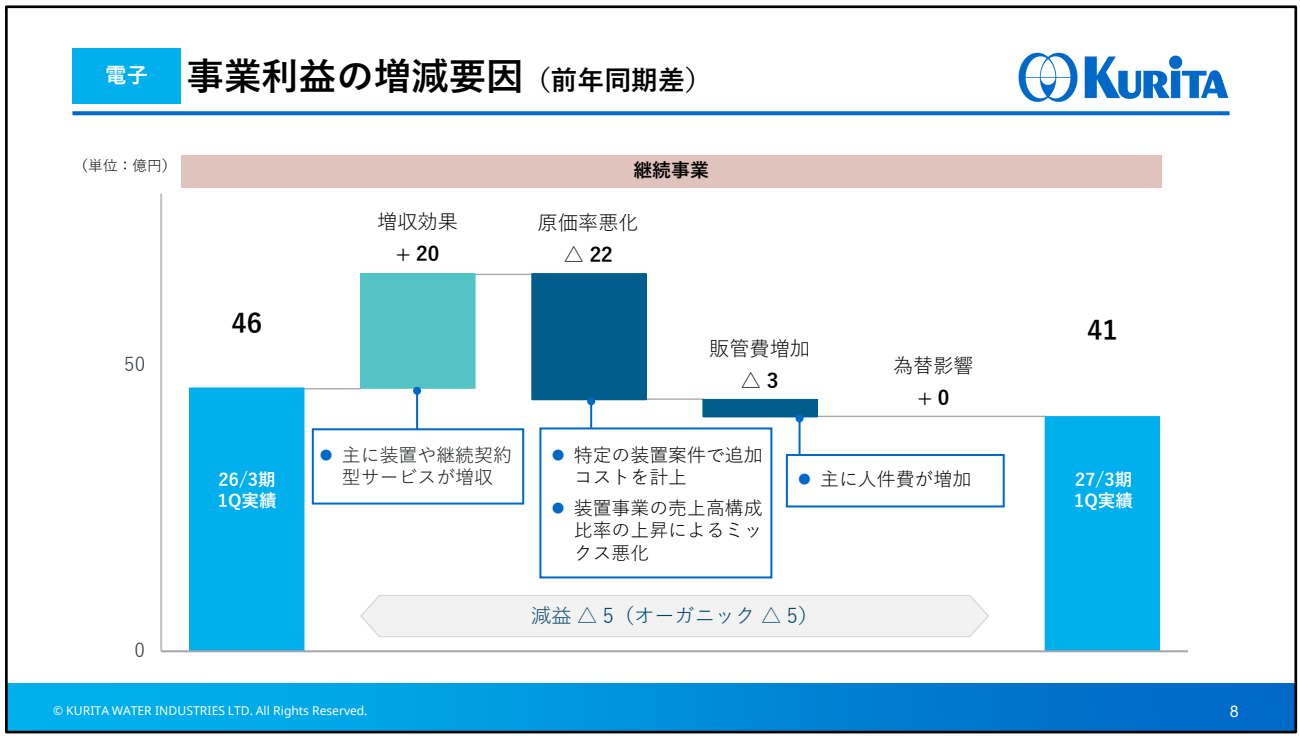
© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

電子セグメントの業績

受注高は、前年同期から大幅に増加しました。
これは主に、装置事業で海外各地域において受注が増加したほか、
継続契約型サービスにおいて、4月から新たに水供給を開始した案件の
貢献などにより増加したものです。

装置の受注は、
グローバルアカウントをはじめとするお客様を中心に、
半導体市場の旺盛な投資を背景として、
想定以上のペースで積み上がっています。
第2四半期に入ってからも、日本で計画に見込んでいた
大型案件を獲得するなど、順調に進捗しています。

売上高についても増収となりました。
装置事業における受注済案件の工事が進捗しているほか、
継続契約型サービスも上期予想に対して好調に推移しています。



電子セグメント　事業利益の増減要因（前年同期差）

事業利益は前年同期と比べ5億円の減益となりました。
主に装置事業および継続契約型サービスの伸長により増収となった一方で、
特定の装置案件で追加コストを計上した影響に加えて、
装置事業の売上高構成比率の上昇によるミックス悪化の影響を受けました。

上期予想に対する利益進捗としては、
追加コストの計上によりスローとなっていますが、
それ以外の部分では堅調な立ち上がりとなっています。

一般水処理 **事業別業績**

	（単位：億円）	2026/3期 1Q実績	2027/3期 1Q実績	前年同期差	2027/3期 上期予想 (7/29発表)
継続事業	**受注高**	**601**	**677**	**＋77**	**1,150**
	装置	75	112	＋37	201
	継続契約型サービス	37	41	＋4	61
	サービス	488	525	＋37	887
	薬品	286	320	＋33	561
	メンテナンス	184	187	＋3	297
	その他	17	18	＋1	29
	売上高	**502**	**540**	**＋38**	**1,050**
	装置	59	67	＋8	136
	継続契約型サービス	30	33	＋3	62
	サービス	413	440	＋27	852
	薬品	281	316	＋36	568
	メンテナンス	114	108	△6	243
	その他	18	16	△2	41
	事業利益	**36**	**47**	**＋11**	**110**
	事業利益率	**7.3%**	**8.8%**	**＋1.5pp**	**10.5%**
	営業利益	**41**	**48**	**＋7**	**107**

装置
- 主に日本での装置案件の獲得および受注済案件の工事進捗により、受注高・売上高ともに増加

継続契約型サービス
- CSVビジネスの拡大により、受注高・売上高ともに増加

薬品
- 為替影響を除いても受注高・売上高ともに増加
- 中国は減収も、米国や日本で増収

メンテナンス
- 受注高は日本、海外ともに増加
- 売上高は主に日本で減収

オーガニック増減	＋8億円
為替影響	＋31億円

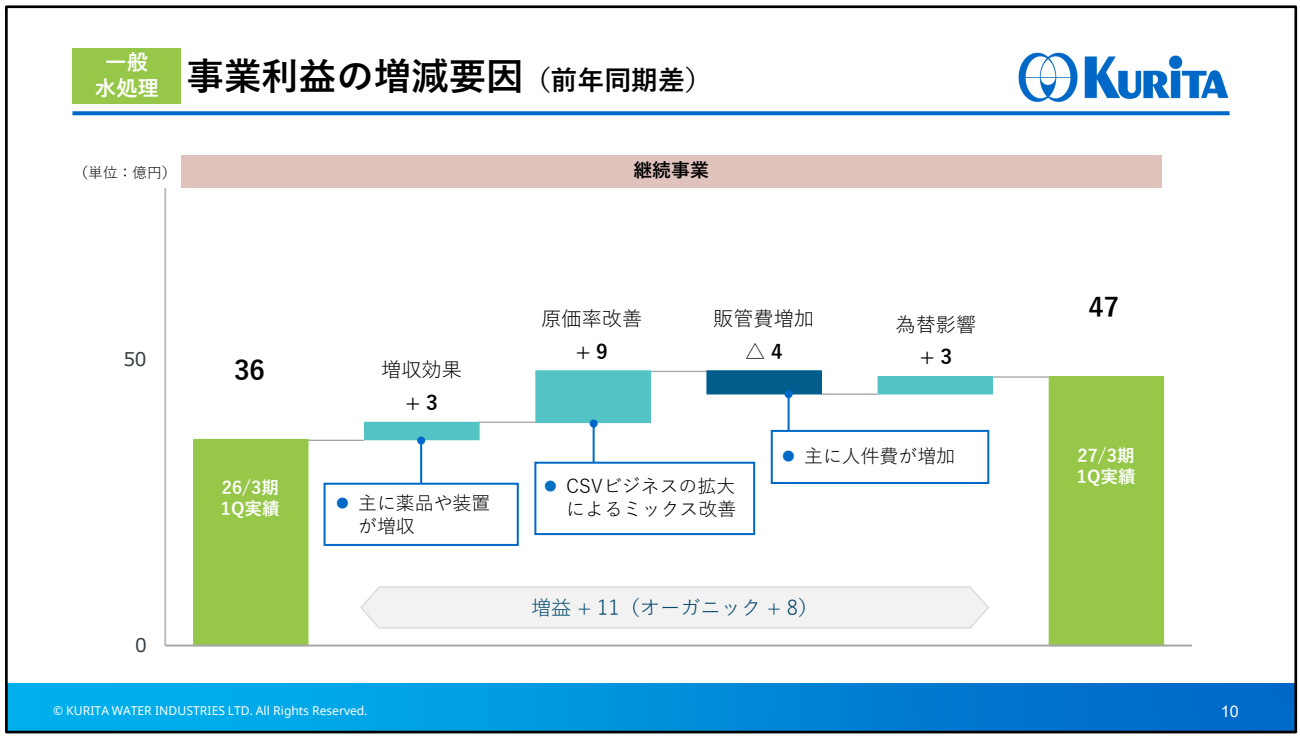
© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

一般水処理セグメントの業績

受注高・売上高ともに前年同期を上回りました。
為替の円安進行による押し上げ効果に加え、
装置事業では日本での案件獲得および受注済案件の売上計上が進み、
薬品事業も日本・米国を中心に伸長しました。

また、CSVビジネスも
薬品事業や継続契約型サービスを中心に拡大が進み、
引き続き収益性の向上に貢献しています。

上期予想に対しては、
リスクとして織り込んでいた中東情勢による
マイナス影響が想定ほど発生していないことに加え、
為替の追い風もあり、堅調に推移しています。



一般水処理セグメント　事業利益の増減要因（前年同期差）

事業利益は前年同期と比べ11億円の増益となりました。
主にCSVビジネスの拡大により原価率の改善が進んだことに加え、
薬品事業や装置事業での増収効果があり、為替も追い風となりました。

なお、為替影響を除いたオーガニックでは、8億円の増益となります。

CSVビジネス

＊CSVビジネス売上高・モデル数は非継続事業の影響額が小さいことから、
2026年3月期以前は、非継続事業を含む数値で表示

KURITA

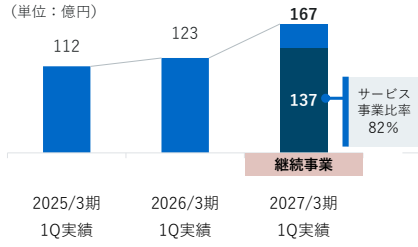
CSVビジネス売上高

（単位：億円）	2026/3期 1Q実績	2027/3期 1Q実績	前年同期差	2027/3期 予想 (7/29発表)
全社連結	123	167	＋44	680
電子	25	42	＋18	145
一般水処理	98	125	＋26	535

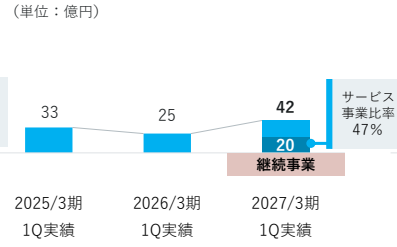
CSVビジネスモデル数

（単位：モデル）	2026/3末	2026/6末	差
全社連結	128	134	＋6

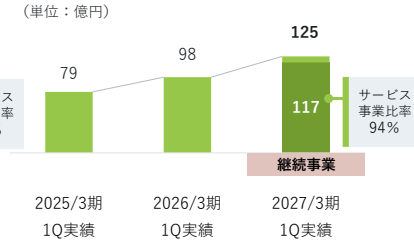
売上高(全社連結)



売上高(電子)



売上高(一般水処理)



© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

11

CSVビジネスの実績

電子、一般水処理セグメントともに増収となり、
想定に対しても堅調に推移しています。

なお、収益性についても、引き続き、
事業全体を10%ポイント以上、上回る水準を確保しており、
当社の持続的成長を支える成長ドライバーとして、貢献しています。

地域別売上高

全社連結

	（単位：億円）	2026/3期 1Q実績	2027/3期 1Q実績	前年同期差	2027/3期 上期予想（7/29発表）
継続事業	日本	455	484	＋29	972
	アジア	210	250	＋40	492
	北南米	119	148	＋29	326
	EMEA	90	117	＋27	189
	合計	**874**	**999**	**＋125**	**1,980**

電子

- アジア、EMEA、北南米 （+）
  装置の工事進捗により増加
- 日本 （＋）
  継続契約型サービスや装置が増加

一般水処理

- 北南米 （＋）
  薬品事業の伸長により増収
- EMEA、アジア （＋）
  為替影響による増収

電子

	（単位：億円）	2026/3期 1Q実績	2027/3期 1Q実績	前年同期差	2027/3期 上期予想（7/29発表）
継続事業	日本	200	220	＋20	426
	アジア	155	193	＋39	392
	北南米	12	22	＋11	93
	EMEA	6	24	＋17	19
	合計	**373**	**459**	**＋87**	**930**

一般水処理

	（単位：億円）	2026/3期 1Q実績	2027/3期 1Q実績	前年同期差	2027/3期 上期予想（7/29発表）
継続事業	日本	255	264	＋9	546
	アジア	56	57	＋1	100
	北南米	107	126	＋19	234
	EMEA	84	93	＋10	170
	合計	**502**	**540**	**＋38**	**1,050**

© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

地域別売上高

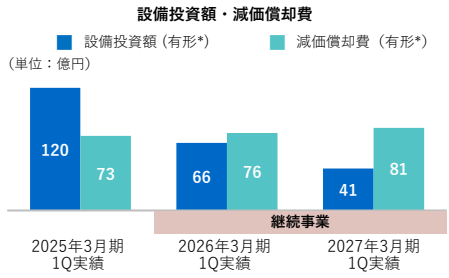
地域別売上高はスライドの通りです。

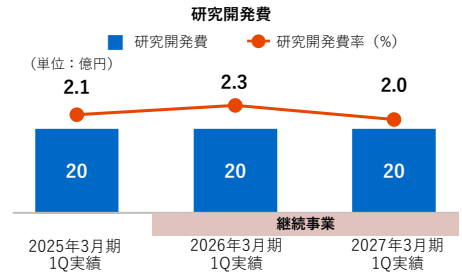
設備投資額・減価償却費・研究開発費

	（単位：億円）	2026/3期 1Q実績	2027/3期 1Q実績	前年同期差	2027/3期 予想 (7/29発表)
継続事業	設備投資額（有形*）	66	41	△ 24	225
	減価償却費（有形*）	76	81	＋ 4	315
	研究開発費	20	20	△ 0	80

＊使用権資産含む。

- 設備投資額は、継続契約型サービスの水供給案件向けの投資が前年同期比で減少
- 減価償却費は、新しい水供給案件が開始したことに伴い前年同期比で増加
- 研究開発費は、前年同期の水準を維持





© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

設備投資額、減価償却費、研究開発費

いずれも、通期予想に対して想定線で推移しています。

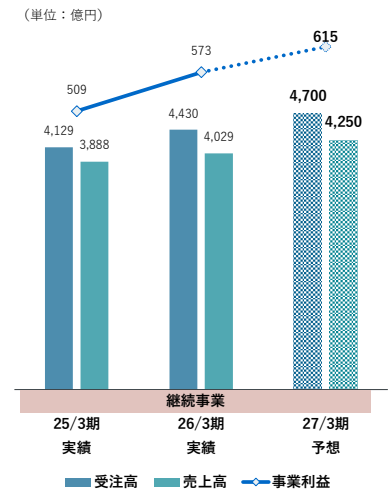
2 2027年3月期 業績予想

© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

業績予想の概要

	（単位：億円）	期初予想（5/14発表）	通期予想（7/29発表）	期初予想差	2026/3期 実績
継続事業	受注高	4,700	4,700	－	4,430
	売上高	4,250	4,250	－	4,029
	事業利益	615	615	－	573
	事業利益率	14.5%	14.5%	－	14.2%
	その他の収支	△ 10	40	＋ 50	9
	営業利益	605	655	＋ 50	583
	税引前利益	600	650	＋ 50	582
継続事業＋非継続事業	親会社の所有者に帰属する当期利益	420	507	＋ 87	160
	基本的1株当たり当期利益（円）	392.49	475.47	＋ 82.98	145.34
	ROE	12.4%	14.9%	＋ 2.5pp	11.7%*
	ROIC	9.7%	9.7%	△ 0.0pp	9.1%*
為替レート	USD（円）	150.8	150.8	－	150.8
	EUR（円）	174.8	174.8	－	174.8
	CNY（円）	21.3	21.3	－	21.3

＊非継続事業を除いた調整後の数値を試算



© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

業績予想の概要

事業利益までの予想については、
セグメントごとに進捗の差はあるものの、
全体としては通期予想に対して
大きく修正を要する変化は生じていません。

また、中東情勢も不透明な状況が続いていることから、
前回予想を据え置いています。

営業利益以下の各段階利益およびROEの予想につきましては、
当四半期におけるペンタゴン社の株式譲渡に伴う
収益の計上を反映し、それぞれ上方修正しています。

電子 **事業別業績予想**

	（単位：億円）	期初予想（5/14発表）	通期予想（7/29発表）	期初予想差	2026/3期 実績
継続事業	**受注高**	**2,400**	**2,400**	－	**2,090**
	装置	1,357	1,357	－	1,042
	継続契約型サービス	544	544	－	546
	サービス	500	500	－	502
	薬品	121	121	－	121
	精密洗浄	90	90	－	85
	メンテナンス	289	289	－	296
	売上高	**1,950**	**1,950**	－	**1,718**
	装置	917	917	－	718
	継続契約型サービス	543	543	－	545
	サービス	491	491	－	454
	薬品	121	121	－	118
	精密洗浄	90	90	－	85
	メンテナンス	280	280	－	251
	事業利益	**305**	**305**	－	**277**
	事業利益率	**15.6%**	**15.6%**	－	**16.1%**
	営業利益	**300**	**350**	**＋50**	**287**

© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

電子セグメント　業績予想

ペンタゴン社の事業は電子セグメントに含まれていたため、
同社の株式譲渡に伴う収益の計上により、営業利益を上方修正しています。

一般水処理

事業別業績予想

	（単位：億円）	期初予想（5/14発表）	通期予想（7/29発表）	期初予想差	2026/3期 実績
継続事業	**受注高**	**2,300**	**2,300**	－	**2,340**
	装置	366	366	－	371
	継続契約型サービス	132	132	－	130
	サービス	1,802	1,802	－	1,839
	薬品	1,209	1,209	－	1,220
	メンテナンス	525	525	－	502
	その他	68	68	－	117
	売上高	**2,300**	**2,300**	－	**2,311**
	装置	360	360	－	373
	継続契約型サービス	126	126	－	125
	サービス	1,813	1,813	－	1,813
	薬品	1,214	1,214	－	1,212
	メンテナンス	514	514	－	507
	その他	85	85	－	94
	事業利益	**310**	**310**	－	**297**
	事業利益率	**13.5%**	**13.5%**	－	**12.9%**
	営業利益	**305**	**305**	－	**296**

© KURITA WATER INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

一般水処理セグメント　業績予想

一般水処理セグメントについては、業績予想の修正は行っていません。



説明は以上です。

当四半期は、電子セグメントで追加コストを計上しましたが、
CSVビジネスの拡大が進む一般水処理セグメントがカバーし、
全体として想定に沿ったスタートをきることができました。

このように、事業ポートフォリオの総合力を発揮することで、
着実に目標に向けて進捗していると認識しています。

一方で、中東情勢は依然として予断を許さない状況が続いています。
不透明な要素もある中ではございますが、
今後も着実な事業運営を通じて、計画達成に取り組んでまいります。

最後になりますが、7月28日に発生し、
現在も続いている熊本地震につきましては、
被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
当社としましては、お客様の事業継続や一日も早い復旧に向け、
当社の技術・サービスを通じてできる限りの支援を行ってまいります。

ご清聴ありがとうございました。